

## 尾道市総合計画後期基本計画(案)に対する意見募集の実施結果について

【募集期間】 令和3年12月10日(金)～令和4年1月11日(火)

【募集結果】 応募者数1人 意見の件数2件

【提出方法】 電子メール1人

### ◎いただいたご意見(概要)と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	市の考え方
1	第1章	観光に関して滞在時間を伸ばすという点に加えて、尾道市ならではの「モノ」の開発等を促すことは出来ないでしょうか(尾道だけでしか購入出来ないもの(お土産など)などがあると、観光消費額の増加に繋がると思います)。	<p>観光消費額は、観光客が市内で支払った交通費、宿泊費、飲食費、土産代、入場料・体験料等であり、魅力的なお土産等の開発を促すことは観光消費額の増加に寄与するものと考えます。</p> <p>現在、市内の各種団体や民間企業により、しまなみ海道デザインのオリジナル商品や、帆布を使ったカバン、レモンケーキ、はっさく大福、ネコデザインの商品など、尾道市ならではの地域資源を活用した様々な商品が開発・販売されています。</p> <p>今後、こうした取組がさらに進んでいくよう、後期基本計画(案)においては、本市のブランド力の戦略的な活用や地域経済を活性化させるため、宿泊者の増加、民間投資の活発化、観光産業の振興を促進させることを記述しております。</p>
2	第2章	もう少し企業や大学などの組織を巻き込むことを考えても良いのではないのでしょうか(北米中心に、近年、いわゆる「協働」から一歩踏み込んだ「コレクティブ・インパクト」という考え方が出てきています)。	<p>企業や大学等との連携につきましては、幅広い分野においてその必要性を認識しています。後期基本計画(案)の基礎となる本市の目指すべき都市像等を示した総合計画の基本構想において、市民が主役となったまちづくりを進めていくうえで、市民、活動団体、企業などの多様な主体との協働によりまちづくりに取り組むこととしています。</p> <p>※コレクティブ・インパクト: 様々な主体が協働して社会課題の解決に取り組む仕組み。1つの目的に対し、それぞれの主体が個別に課題解決に取り組むのではなく、集合体として取り組むことで、効果を増幅・継続させる。</p>